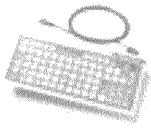

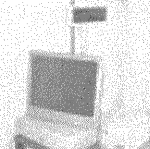
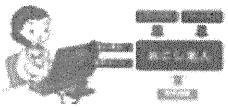
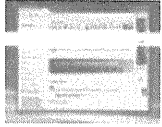
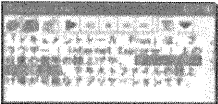
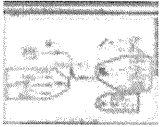
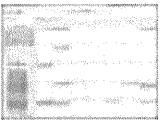


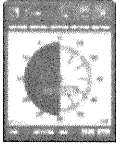

表3 個別支援ツール



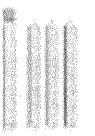



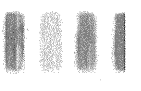


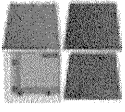
	ツール名	参考イメージ	説明
1	小型ひらがなキーボード	 ©テクノツール/「小型ひらがなキーボードUSB」	<p>「小型ひらがなキーボード」は、「ローマ字入力が苦手な人がPCに入力を簡単にできる」ことをねらいとしたものです。具体的には、「50音配列で入力できる」という機能があります。これにより、「ローマ字入力が苦手な人」が「入力を楽にできる」ことを支援します。</p>
2	カラーフィルター	 ©フリーソフト研究所/「如意スクリーン」	<p>「カラーフィルター」は、「眩しさや視覚刺激に気をとられることなく集中して作業に取り組む」ということをねらいとしたものです。具体的には、「画面の照度やコントラストを調整する、カーラーセロファンをかぶせる、とうことで、視覚刺激を軽減させる」という機能があります。これにより、「視覚刺激を多く受けやすい」という困難のある方が、「周囲の環境に気をとられることなく集中して作業をおこなう」ことを支援します。</p>
3	レジ業務支援システム	 ©コムフレンド/「キャッシュデスプログラム」	<p>「レジ業務支援システム」は、「レジスター業務を遂行する」ことをねらいとしたものです。具体的には、「複雑な商品の注文・計算等を絵表示画面やタッチ画面で簡単にできる」という機能があります。これにより、「複雑なレジスター業務が難しい」という困難があるかたが、「自信と自立心を高めて接客をする」ことを支援します。</p>
4	音声認識・音声入力ソフト	 ©アイネット/「おこし名人」	<p>「音声認識・音声入力ソフト」は、「音声で文章を作成する」ことをねらいとしたものです。具体的には、「キーボードの代わりにパソコンに接続したマイクに向かって話すと文字を入力できる」という機能があります。これにより、「キーボードの入力が苦手」な方が、「PCの入力を行う」ことを支援します。</p>
5	ルーラー	 ©claro software /「Screen Ruler スイート」	<p>「ルーラー」は、「視覚刺激を軽減させる」ということをねらいとしたものです。具体的には、「読みたい場所の文章を分かりやすくする」という機能があります。これにより「多くの視覚情報を1度に読んで理解することに困難がある方」が「分かりやすくよんだり、情報の理解を深める」ことを支援します。</p>
6	テキストリーダー	 ©クリエイトシステム/「ドキュメントーカ 日本語音声合成エンジン」	<p>「テキストリーダー」は、「PCで文章を音声で聞いて読みやすくする」ということをねらいとしたものです。具体的には、「PC上で読みたい文章を示すと、文章を読み上げると同時に網かけがわかり、どこを読んでいるのか分かる」という機能があります。これにより、「文章を読んでも理解しにくい」という困難のある方が、「文章の内容を音声で理解して内容理解を深めること」を支援します。</p>
7	マインドマップ	 ©ビーイング/「Mind Manager」	<p>「マインドマップ」は、「複数の情報を整理して理解したり、考えをまとめる」ことをねらいとしたものです。具体的には、「PC上で、マッピング(人間の脳の思考パターンをそのまま図に表した様な記述法)ソフト画面に情報を断層的に整理する」という機能があります。これにより、「目や耳から情報が入ってきても、それらが断片的で意味理解をすることに困難がある方」や「複数の情報をもとにして考えを組み立てることに困難がある方」が、「複数の情報を整理して、視覚的に理解したり、考える」ことを支援します。</p>
8	手順支援ソフト	 ©明電ソフトウエア/「メモリアシスト」	<p>「手順支援ソフト」は、「作業を正確な手順で、見通しを持って取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「作業の手順を文字、画像、音声で確認できる」という機能があります。これにより、「マニュアルを読むことが難しい」「作業を一度で覚えることができない」という困難がある方が「分かりやすく手順を確認しながら作業に取り組む」ことを支援します。</p>

9	手順支援キット		©障害者サポート企画 BIRD/「めくる君スーパー BIRD031」	「手順支援キット」は、「作業を正確な手順で、見通しを持って取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「作業や課題をクリアできるように、手順を確認できる」という機能があります。これにより、「作業を一度で覚えることができないという困難がある方」が「分かりやすく手順を確認しながら作業に取り組む」ことを支援します。	
10	忘れ物チェックアプリ		©ECSコンサルティング/「毎朝チェッカー」	「忘れ物チェックアプリ」は、「予定していた活動を忘れずに実行したり、外出時に持ち物を忘れないようにする」ことをねらいとしたものです。具体的には、「指定した時間にアラートが鳴り、画面でチェックリストを確認できるリマインダー」機能があります。これにより、「予定や持ち物を覚えておく」「予定の時間にやるべきことを思い出す」ことが難しい人が「予定した活動を行う」ことを支援します。	
11	スケジュール管理ボード (LEDランプつき)		©コムフレンド/「メモ・デイプランナー」	「スケジュール管理ボード(LEDランプつき)」は、「予定や時間経過を把握する」ことをねらいとしたものです。具体的には、「予定の内容と時間を確認できる」「次の予定までの残り時間を点灯しているランプで確認できる」という機能があります。これにより、「次の活動までの残り時間を見積もる」「予定を覚えておく」ことが難しい人が「予定を忘れずに取り組む」ことを支援します。	
12	スケジュール管理システム	w e b 上		©Google/「Google カレンダー」	「スケジュール管理システム(web上)」は、「パソコン上のスケジュールを活用して1日の予定を忘れずに取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「Web上で予定を管理する」「 <u>予定の日時を携帯電話にメールで知らせることができる</u> 」という機能があります。これにより、「スケジュール管理がうまくできない」「予定を忘れてしまう」方が「一日の複数の予定を忘れずに取り組む」ことを支援します。
13		P C ソ フ ト		©コムフレンド/「日常管理プログラム」	「スケジュール管理システム(PCソフト)」は、「これからの予定を忘れずに取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>PCで絵や音声を使って、予定の確認ができる</u> 」という機能があります。これにより、「スケジュール管理がうまくできない」「予定を忘れてしまう」方が「一日の複数の予定を忘れずに取り組む」ことを支援します。
14	スケジューラー iPhone アプリ		©たすく/「たすくスケジュール」	「スケジューラー・iPhoneアプリ」は、「予定を把握する」ことをねらいとしたものです。具体的には、「iPhoneなどで、コミュニケーションカードを使って簡単にスケジュールを作成できる」という機能があります。これにより、「スケジュール管理がうまくできない」「予定を忘れてしまう」方が「一日の複数の予定を忘れずに取り組む」ことを支援します。	
15	探し物発見器	受信機複数型		©クマザキエイム/「探し物探知機 どこいっ太郎RF-315N」	「探し物発見器(受信機複数型)」は、「失くしたものをみつける」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>親機の数字ボタンを押すと、その数字が割り当てられた子機の音が鳴ることにより、音で物の場所を伝える</u> 」機能があります。これにより、「物を置いたことを覚えておく」ことが難しい人が「忘れ物をして物をなくさないようにする」ことを支援します。
16		音・光案内型		©サンコー/「紛失物発見器 Mini Tracker」	「探し物発見器(音・光案内型)」は、「失くしたものをみつける」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>マスター部がスレーブ部まで、光と音で対象物まで案内してくれる</u> 」機能があります。これにより、「物を置いたことを覚えておく」ことが難しい人が「忘れ物をして物をなくさないようにする」ことを支援します。

17	置き忘れ防止 アラーム	アラーム シミュン ンバ 型イ ブ	 ©リーベックス/「離れると アラーム3:1 WSA」	「探し物発見器(アラーム・バイブレーション型)」は、「物を置き忘れないようにする」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>物から離れると、アラーム音とバイブレーションで知らせる</u> 」機能があります。これにより、「物を置いたことを覚えておく」ことが難しい人が「忘れ物をして物をなくさないようにする」ことを支援します。	
18		警告音型	 ©コスモテクニカ/「うっかり センサー」	「探し物発見器(警告音型)」は、「物を置き忘れないようにする」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>物をから離れると、警報で忘れ物をしていることを知らせる</u> 」機能があります。これにより、「物を置いたことを覚えておく」ことが難しい人が「忘れ物をして物をなくさないようにする」ことを支援します。	
19	施錠管理 キーケース		 ©三共理研/「楽キーケー ス」	「施錠管理キーケース」は、「外出時に、鍵をかけたか否かを確認する」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>施錠をした時刻を確かめられる</u> 」機能があります。これにより、「鍵をかけたか否かを覚えておく」ことが難しい人が「盗難を防ぐ」ことを支援します。	
20	VOCA	i P h o n e ア プ リ	 ©Spectrum Visions Global/「Voice4U」	「VOCA(iPhone アプリ)」は、「言語の表現が難しい人の気持ちや考えていること、行動などを的確に表現する」ことをねらいとしたものです。具体的には、「iPhoneで、 <u>絵や画像を使ってコミュニケーションを助ける</u> 」機能があります。これにより「的確に言語表現することが難しい」方が「気持ちや考えていることを伝える」ことを支援します。	
21			 ©Droplet Project/「ドロ ブトーク」		
22			 ©アルカデア/「ボイスエ イド」	「VOCA(iPhone アプリ)」は、「iPhoneなどで、コミュニケーションをとる」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>キーボードから入力し、文章を読みあげる</u> 」という機能があります。これにより、「言葉で伝える」ことが苦手な人が「自分の意思を伝える」ことを支援します。	
23			持ち 運び 用	 ©こころ工房/「Gotalk ポ ケット」	「VOCA(持ち運び用)」は「言語の表現が難しい人の気持ちや考えていること、行動などを的確に表現するコミュニケーションを助ける」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>絵を使ってコミュニケーションを助ける</u> 」「 <u>小さく持ち運びが便利</u> 」という機能があります。これにより、「的確に言語表現することが難しい」方が「気持ちや考えていることを伝える」ことを支援します。
24			腕 時計 型	 ©パシフィックサプライ/ 「トークトラック」	「VOCA(腕時計型)」は、「言語の表現が難しい人の気持ちや考えていること、行動などを的確に表現するコミュニケーションを助ける」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>絵を使ってコミュニケーションを助ける</u> 」「 <u>腕時計型で持ち運びが容易</u> 」という機能があります。これにより「的確に言語表現することが難しい」方が「気持ちや考えていることを伝える」ことを支援します。
25	卓 上 型	 ©パシフィックサプライ/ 「VOCAフレックス2」	「VOCA(卓上型)」は、「言語の表現が難しい人の気持ちや考えていること、行動などを的確に表現するコミュニケーションを助ける」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>絵を使ってコミュニケーションを助ける</u> 」という機能があります。これにより、「言葉で伝える」ことが苦手な人が「自分の意思を伝える」ことを支援します。		

26	ボ ー ド タ 併 用 伝 言 型 言	 ©ナカバヤシ/「ムービーメモ」	「タイムエイド(デジタル伝言ボード併用型)」は、「動画で伝言をりか いできる」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>簡単に動画 の録画ができる「タイマー」</u> という機能ががあります。これにより、 「文章では、伝言が理解しづらい人」に、「動画で内容理解を深め る」ことを支援します。
27	置 き 時 計 型	 ©Timetimer/「タイムタイ マー(オーティブル)」	「タイムエイド(置き時計型)」は、「終わりの時間の見通しを持って 作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>時間 の経過とともに赤い円盤が減っていき、残り時間を確認できる</u> 」とい う機能ががあります。これにより、「作業時に時間の進行や残り時間を 認識しにくい、目標の時間までにすべき作業を終わらせることが難 しい」という困難がある方が「終わりの時間の見通しを持って作業に 取り組む」ことを支援します。
28	(6 0 分 表 示) i P h o n e	 ©McMor Software/ 「Lotus」	「タイムエイド(iPhoneアプリ・60分表示)」は、「終わりの時間の見 通しを持って作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的 には、「 <u>iPhoneなどで、残り時間を視覚で確認できる</u> 」という機能が あります。これにより、「作業時に時間の進行や残り時間を認識しに くい、目標の時間までにすべき作業を終わらせることが難しい」とい う困難がある方が「終わりの時間の見通しを持って作業に取り組 む」ことを支援します。
29	(1 0 時 間 表 示) i P h o n e	 ©McMor Software/「Uz」	「タイムエイド(iPhoneアプリ・10時間表示)」は、「終わりの時間の 見通しを持って作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体 的には、「 <u>iPhoneなどで、残り時間を10時間まで確認できる</u> 」とい う機能ががあります。これにより、「作業時に時間の進行や残り時間を 認識しにくい、目標の時間までにすべき作業を終わらせることが難 しい」という困難がある方が「終わりの時間の見通しを持って作業に 取り組む」ことを支援します。
30	(ラ イ ト 卓 上 表 示)	 ©MSテクノ/「EG-Assist」	「タイムエイド(卓上型・ライト表示)」は、「終わりの時間の見通しを 持って作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、 「 <u>ライトが消えて、残り時間を示す</u> 」という機能ががあります。これに より、「作業時に時間の進行や残り時間を認識しにくい、目標の時間 までにすべき作業を終わらせることが難しい」という困難がある方 が「終わりの時間の見通しを持って作業に取り組む」ことを支援しま す。
31	(数 字 表 示) 卓 上 型	 ©コムフレンド/「タイムロ グ20-1」	「タイムエイド(卓上型・数字表示)」は、「終わりの時間の見通しを 持って作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、 「 <u>時間の経過が見えて、アラームで設定時間を知らせる</u> 」という機能 ががあります。これにより、「作業時に時間の進行や残り時間を認識し にくい、目標の時間までにすべき作業を終わらせることが難しい」と いう困難がある方が「終わりの時間の見通しを持って作業に取り組 む」ことを支援します。
32	(シ ン ボ ル) 卓 上 型	 ©コムフレンド/「QHW」	「タイムエイド(卓上型・シンボルカード付き)」は、「終わりの時間の 見通しを持って作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体 的には、「 <u>シンボルカードによって設定された時間までの残り時間を 視覚的に知らせる</u> 」という機能ががあります。これにより、「作業時に 時間の進行や残り時間を認識しにくい、目標の時間までにすべき 作業を終わらせることが難しい」という困難がある方が「終わりの時 間の見通しを持って作業に取り組む」ことを支援します。
33	(1 日 表 示) 卓 上 型	 ©コムフレンド/「Cozyx ウ オッチU型」	「タイムエイド(卓上型・1日表示)」は、「終わりの時間の見通しを 持って作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、 「 <u>時間の経過が見えて、アラームで設定時間を知らせる</u> 」という機能 ががあります。これにより、「作業時に時間の進行や残り時間を認識し にくい、目標の時間までにすべき作業を終わらせることが難しい」と いう困難がある方が「終わりの時間の見通しを持って作業に取り組 む」ことを支援します。

34	タイムエイド	(1日・卓上型・カード)	 ©コムフレンド/「Cozyx ウォッチ1型」	「タイムエイド(卓上型・1日表示、絵カード付き)」は、「終わりの時間の見通しを持って作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>時間の経過が見えて、アラームで設定時間を知らせる</u> 」という機能があります。これにより、「作業時に時間の進行や残り時間を認識しにくい、目標の時間までにすべき作業を終わらせることが難しい」、という困難がある方が「終わりの時間の見通しを持って作業に取り組む」ことを支援します。
35		パソコンソフト	 ©Time Timer/「タイムタイマーCD2」	「タイムエイド(パソコンソフト)」は、「終わりの時間の見通しを持って作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>PC上で、時間の経過とともに赤い円盤が減っていき、残り時間を確認できる、アラームで予定時間を知らせる</u> 」という機能があります。これにより「作業時に、時間の進行や残り時間を認識しにくい、目標の時間までにすべき作業を終わらせることが難しい」という困難がある方が、「終わり時間の見通しを持って作業に取り組む」ことを支援します。
36	ハミガキ手洗いタイマー		 ©fly bird/「ハミガキ手洗いタイマー」	「ハミガキ手洗いタイマー」は「手洗いと歯磨きを習慣づける」ことをねらいとしたものです。具体的には、「ボタンを押すと、ライトが点滅し始め、終了時間を知らせる」という機能があります。これにより、「時間の進行や残り時間を認識しにくい」という困難がある方が、「終わりまで集中して取り組む」ことを支援します。
37	歯みがきタイマー iPhone アプリ		 ©apple store/「5分歯磨き」	「歯みがきタイマー・iPhoneアプリ」は、「歯みがきをきちんとする」ことをねらいとしたものです。具体的には、「時間の表示と共に、歯みがきの手順が表示される」という機能があります。これにより、「時間の進行の認識や手順が曖昧」という困難がある方が、「最後まできちんと歯みがきをする」ということを支援します。
38	パーテーション	事務用	 ©つるぼくす/「遮蔽板 事務用 片面白」	「パーテーション(事務用)」は、「周囲の環境に気をとられることなく集中して取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>落ち着いて自分のペースで作業を行うことができる。</u> 」という機能があります。これにより、「視覚情報が多いと混乱してしまったり、他人の視線が気になって作業が行えない」という困難がある方、が「周囲の環境に気をとられることなく集中して作業を行う」ことを支援します。
39		A4版	 ©生活工房/「どこでもパーテーション(A4版)」	「パーテーション(A4版)」は、「周囲の環境に気をとられることなく集中して取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>落ち着いて自分のペースで作業を行うことができる。</u> 」「持ち運びが便利」という機能があります。これにより、「視覚情報が多いと混乱してしまったり、他人の視線が気になって作業が行えない」という困難がある方、が「周囲の環境に気をとられることなく集中して作業を行う」ことを支援します。
40	メモ	卓上型	 ©キングジム/「卓上メモ マメモTM1」	「メモ(卓上型)」は、「メモをとり、無くさない」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>画面上に、メモをとる」「設定した日時にアラームを鳴らす</u> 」という機能があります。これにより、「メモを保存しておく」「予定を覚えておく」ことが苦手な人が「メモをなくさない」「予定した活動を行う」ことを支援します。
41		スケジュール型	 ©アドプラス/「スティッキースケジュールメモ ウィークリー」	「メモ(スケジュール型)」は、「予定をすぐにメモし、無くさない」ことをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>週間のスケジュールが書き込み、好きなところに貼ることができる</u> 」という機能があります。これにより、「メモを保存しておく」「予定を覚えておく」ことが苦手な人が「メモをなくさない」「予定した活動を行う」ことを支援します。
42		キーボード型	 ©キングジム/「デジタルメモ帳 ポメラ」	「メモ(キーボード型)」は「簡単にメモをとる」ということをねらいとしたものです。具体的には、「 <u>小型キーボードでメモをとる</u> 」という機能があります。これにより「テキスト入力が得意」という方が「少しの時間、どこでも入力できる」ということを支援します。

43	ポケット付き カレンダー	 ©アクセスインターナショナル/「ポケットつきカレンダー」	「ポケット付きカレンダー」は、「その日の予定を把握する」ことをねらいとしたものです。具体的には、「1日ごとに区切られたビニールシートのポケットにシンボルや写真を入れて1か月のスケジュール表を作る」という機能があります。これにより「予定を覚えておく」ことが難しい人が「予定した活動を行う」ことを支援します。	
44	持ち方補助具 (缶・ペットボトル開け)	 ©ダイイチ/「らくらく実感オープナー」	「持ち方補助具」は、「手先の力の補助」をねらいとしたものです。具体的には、「ペットボトルや缶を開けることが容易」という機能があります。これにより「指先の力が弱い」という困難がある方が、「缶や、ペットボトルを開ける」ことを支援します。	
45	ユニバーサル 定規	メモリ 強調型	 ©レイメイ藤井/「見やすい定規」	「ユニバーサル定規(メモリ強調型)」は、「正確な定規の読み取り」をねらいとしたものです。具体的には、「メモリに矢印が入っている、端からメモリが入っている」という機能があります。これにより、「メモリを正確に読めない」方が、「容易にメモリを読む」ことを支援します。
46		シリ コン 製	 ©ゴムQ/「Qスケール」	「ユニバーサル定規(シリコン製)」は、「手先の巧緻性に困難のある方の作図の補助」をねらいとしたものです。具体的には、「 <u>ゴム製なので、固定しやすい</u> 」という機能があります。これにより、「まっすぐに線を引くことが難しい」方が、「作図を容易に行う」ことを支援します。
47		ル ー ラ ー 付 き 分 度 器	 ©三幸製図機械製作/「おもしろスケール」	「ユニバーサル定規(分度器・ルーラー付き)」は「手先の巧緻性に困難のある方の作図の補助」をねらいとしたものです。具体的には、「 <u>基本的な製図が簡単にでき、OAデータの読み取りが容易にできる</u> 」という機能があります。これにより「まっすぐに線が引けない」方が、「作図を容易に行う」ことを支援します。
48	筆記補助具	リン グ 型	 ©ゴムQ/「Qリング」	「筆記補助具」は「手指の力の調節等がうまくできない方の筆記の補助」をねらいとしたものです。具体的には、「指が適切な位置に誘導される」という機能があります。これにより「手指の力の調節や指先の感覚がうまくコントロールできない」方が、「鉛筆を適切な持ち方、筆圧で使用することができる」ことを支援します。
49		グ リ ッ プ 型	 ©クツワ/「ブニュグリッ プ」	
50		三 角 鉛 筆	 ©三菱鉛筆/「三角かきか た鉛筆」	
51	柔らか消しゴム	 ©プラス/「プラスチック消 しゴムWEアイン」	「柔らか消しゴム」は「手先の力の調節がうまくできない方が容易に消しゴムを使う」ことをねらいとしたものです。具体的には、「軽い消し心地でよく消える」という機能があります。これにより、「指先の力のコントロール」に困難のある方が、「軽い力で鉛筆等を消す」ことを支援します。	
52	シリコン製 デスクシート	 ©ゴムQ/「Qデスクシ ート」	「シリコン製デスクシート」は、「手先の巧緻性に困難のある方の作業時の補助」をねらいとしたものです。具体的には、「紙のズレを防止し、消しゴムで消すことやコンパスの作業を容易にする」という機能があります。これにより、「手指の力の調節や指先の感覚がうまくコントロールできない」方が、「効率のよい作業をする」ことを支援します。	

53	おもしろナイフ	 ©三幸製図機械製作/おもしろザクザクナイフ	「おもしろナイフ」は「手先の巧緻性に困難のある方の切断の補助」をねらいとしたものです。具体的には、「持ちやすいグリップ・刃の位置が分かりやすい」という機能があります。これにより、「手先の力の調節がうまくコントロールできない」方が、「切断を容易に行う」ことを支援します。	
54	小型ゴム製ボール	 ©池田工業社/「イガイガエクサボール」	「小型ゴム製ボール」は「指先の不適切行動の軽減」ことをねらいとしたものです。具体的には、「握ることによってリラックスできる」という機能があります。これにより、「指先を動かしていないと不安」という困難のある方が、「安心して作業をする」ことを支援します。	
55	携帯電話	 ©富士通/「docomo NEXT series ARROWAS X LTE F-05D」	「携帯電話」は、「携帯電話の諸機能を活用して、1日の予定や覚えておきたいことを忘れずに取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「予定を管理し、知らせる」「カメラで撮影してメモの代わりにする」「忘れたくない情報をメモしておく」「GPS機能で現在地を把握できる」という機能があります。これにより、「予定や覚えておきたいことを忘れてしまう」「道に迷いやすい」方が「一日の複数の予定や覚えておきたい事柄を忘れずに取り組む」「現在地を把握する」ことを支援します。	
56	ポータブルオーディオプレイヤー	 ©sony/「walk man」	「ポータブルオーディオ プレイヤー」は、「休憩時間などの空白の時間の適切に過ごす」ということをねらいとしたものです。具体的には「一人で静かに音楽を聴く」という機能があります。これにより、「休憩時間のに何をしようかわからず、ぼっとしたり、不安になってしまう」という方が「適切な余暇活動をする」ということを支援します。	
57	ICレコーダー	 ©sony/「ステレオICレコーダーICD-UX523」	「ICレコーダー」は、「耳からの情報の内容理解を深める」ということをねらいとしたものです。具体的には「録音した音声をいつでも聞き直せる」という機能があります。これにより、「多くの音声情報を1度に聞いて理解すること」に困難がある方が、「後から聞き返すことで、情報の理解を深める」ことを支援します。	
58	電子辞書	 ©カシオ/「Ex-word XD-D6500」	「電子辞書」は、「素早く語彙の理解する」ことをねらいとしたものです。具体的には、「手書き入力でも、意味を調べることができる」「その意味を、音声で読み上げをしてくれる」「がさばらない」という機能があります。これにより、「辞書を引くことが苦手」という困難のある方が「短時間で視覚、聴覚から情報を得る」ことを支援します。	
59	ワイヤレス補聴器	 ©アイアシステム/「infraPORT Set830S」	「ワイヤレス補聴器」は、「他の視覚情報に気をとられることなく目的の音声を集中して聞き取る」ということをねらいとしたものです。具体的には「赤外線を利用して音を伝える」という機能があります。これにより「複数の人が会話している場面になると話を聞き取れない」という困難のある方が、「他の人の声に気をとられることなく話を聞きとる」ことを支援します。	
60	音量表示装置	i P h o n e アプリ	 ©iPad iPhoneWire/「Noise Level」	「音量表示装置(iPhone アプリ)」は、「声の大きさのコントロールをできるようにする」ことをねらいとしたものです。具体的には、「iPhoneで、音量をグラフで知らせる」という機能があります。これにより「自分の声の音量のコントロールが難しい」という困難のある方が、「適切な声の大きさで会話をする」ことを支援します。
61		持ち運び用	 ©コムフレンド/「光る声のものさし「Voice Ruler」(ボイスルーラー)」	「音量表示装置(持ち運び用)」は、「声の大きさのコントロールをできるようにする」ことをねらいとしたものです。具体的には、「自分の声の音量をライトで知らせる」という機能があります。これにより、「自分の声のコントロールが難しい」という困難のある方が、「適切な声の大きさで会話をする」ことを支援します。

62	ノイズ キャンセリング ツール	ヘッド ホン 型	 ©PELTOR/「イヤーマフ イエロー H510A」	「ノイズキャンセリングツール」は、「周囲の音に気をとられることなく集中して作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「装着することによって音を遮断する」という機能があります。これにより「音に過敏に反応しやすい」という困難がある方が、「集中して作業を行う」ことを支援します。
63		軽 量 型	 ©EAR/「イヤーフレックス」	「ノイズキャンセリングツール」は、「周囲の音に気をとられることなく集中して作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「装着することによって音を遮断する」「軽量で頭に違和感が <u>ない</u> 」という機能があります。これにより「音に過敏に反応しやすい」という困難がある方が、「集中して作業を行う」ことを支援します。
64		イヤ ホン 型	 ©EAR/「エクスプレス (コード付き耳栓)」	「ノイズキャンセリングツール」は、「周囲の音に気をとられることなく集中して作業に取り組む」ことをねらいとしたものです。具体的には、「装着することによって音を遮断する」「イヤホン型で締め付け感が <u>ない</u> 」という機能があります。これにより「音に過敏に反応しやすい」という困難がある方が、「集中して作業を行う」ことを支援します。
65	座位補助 クッション	 ©パシフィックサプライ/ 「ハートリーフクッション」	「座位補助クッション」は、「椅子に座った状態での作業を集中して取り組む」ということをねらいとしたものです。具体的には、「骨盤を固定し、左右のバランスがとれるように調整する」という機能があります。これにより、「長時間座ってられない、つい姿勢がくずれてしまう」という困難のある方が、「周囲から注意されることなく、姿勢を保持して、集中して作業を行う」ということを支援します。	
66	粘着タイプの 耳かき	 ©山洋/「くっつけて取る 綿棒50本」	「粘着タイプの耳かき」は、「不快感なく、耳の手入れを行う」ことをねらいとしたものです。具体的には、「粘着剤付きで耳垢をくっつけて取る」という機能があります。これにより、「耳かきが苦手」という困難のある方が、「不快感を軽減して歯の手入れを行う」ことを支援します。	
67	電動歯ブラシ	 ©Panasonic/「音波振動 ハブラシドルツ イオン EW-DE41」	「電動歯ブラシ」は、「歯の手入れを十分に行う」ことをねらいとしたものです。具体的には、「歯茎にやさしく、しっかりと歯磨きができる」という機能があります。これにより、「歯磨きが苦手」という困難のある方が、「不快感を軽減して歯の手入れを行う」ことを支援します。	
68	電気ポット	 ©タイガー/「電気ケトル PFY-A080」	「電気ポット」は、「安全にお湯を沸かす」ことをねらいとしたものです。具体的には、「沸騰すると自動的に電源が切れる。倒れてもお湯漏れを抑える」という機能があります。これにより、「スイッチを切り忘れる」「ポットを倒しやすい」という困難のある方が、「安全にお湯を沸かす」ことを支援します。	

入所重度知的障害者のきょうだいの課題と自己概念

研究分担者 北村弥生 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

研究協力者 上田礼子 (沖縄県立看護大学)

研究要旨

重度知的障害児入所施設利用者の保護者ときょうだいを対象に、きょうだいの課題と自己概念を質問紙法により調査し以下の結果を得た。1) 対照群に比べ自己概念は、母親群は有意に低く、きょうだい群と父親群では有意差はなかった。2) 「入所生の存在が職業選択及び結婚に影響した」というきょうだいは少数であった。3) 「入所生の将来を心配している」と回答したきょうだいが多かったが、社会資源に関する情報には青年期から不足感を回答した。4) きょうだいに対する直接支援を求める回答は、きょうだいからも保護者からも少なかった。これらの結果は以下のことを示唆する。1) 入所者の母親にける子育て役割を支援する必要があること、2) きょうだいが安心できる親亡き後の支援体制及びきょうだいに対する青年期からの情報提供を整備する必要があること。

A. 研究目的

障害児(者)・慢性疾患患児(者)のきょうだいには多様な課題があることが知られている。きょうだいの多様な課題とは、親の関心が障害児に集中するための寂しさ、障害に関する情報不足による必要以上の不安、学校や地域で出会う偏見、親亡き後の障害者の後見の負担などである。きょうだいの課題に注目された発端は、1950年代に北欧で始まった脱施設化により障害児が在宅で生活することにより、健常なきょうだいの発達が妨げられないかの懸念であった。そのため、入所している障害者のきょう

だいに関する先行研究は見当たらない。

しかし、家庭で重度知的障害児や自閉症児を養育することが困難な場合には、長期に入所施設を利用する。入所者ときょうだいの関係については、「きょうだいとしての関わり」が薄いのではないか、親亡き後のきょうだい関係が希薄にならないか、きょうだいの日常生活への影響は少ないのか、障害に関する情報が不足しているのではないかなどの推測がなされるが、実証的な研究はない。わが国でも、施設入所から地域移行が推進されるなかで、本研究は、入所者ときょうだいの関係及びきょうだいの課

題の実態を明らかにし、良好な家族関係を築くための支援に資することを目的とする。

B. 研究方法

国立秩父学園の入所者 50 名中、きょうだいがいない、あるいは、きょうだいへの連絡が好まれないことが分かっている 2 名を除いた 48 名の保護者に対し、調査の目的を記載し、「調査用紙を送付してよいか、調査報告書を送ってよいか」の打診ときょうだいの年齢の確認を郵便で行った。「返信用葉書が期日までに到着しなかった場合には、送付された調査用紙を見てから回答の諾否を決めていただきたいこと」も打診の文書に併記した。打診に対して調査協力を承諾が得られなかった 5 名（うち 2 名は、ひとりっ子であることが理由であると記載された）と宛先不明で打診が返却された 2 名を除いた 41 名の保護者宛に、保護者ときょうだい用の質問紙と返信用封筒を送付し、記入して返信することを依頼した。

打診に先立ち、国立秩父学園の入所施設を見学し、調査用紙について入所者の親の会の会長の了解を得た後で、親の会の会合で園長より調査目的と手順の説明を行った。

質問内容は、保護者に対しては、1) 属性（家族構成）2) 入所者に関する事項（診断名、手帳の等級、入所時期、入所理由、1 年間の帰省日数、1 年間の面会日数、心配なこと）、3) きょうだいへの障害に関する説明状況（時期、説明者、内容）、4) 障害に関係したきょうだいの経験と感情 10 項目、5) 家族支援のニーズ、6) 自己概念で

あった。きょうだいに対しては、1) 属性（家族構成、居住地）、2) 障害に関して受けた説明（時期、説明者、内容）、3) 障害に関係した経験と感情 10 項目、4) 障害に関係した経験と感情（きょうだい同士の事項）19 項目、5) 家族支援のニーズ 14 項目、6) 自己概念 15 項目であった。「障害に関係した経験と感情」は、障害児のきょうだいがよく経験する質問項目（MacHale, 1985）を、保護者が把握できるものと、できないものに分け、前者は保護者ときょうだいに、後者はきょうだいのみに質問した。自己概念は Harter による尺度を上田が日本語に標準化した尺度を利用した。

回答は保護者ときょうだい別々に集計し、SPSS (IBM) で平均値の有意差を検定した。

C. 研究結果

1. 対象者の属性

調査用紙は、保護者 13 名（父親 5 名、母親 7 名、不明 1 名）、きょうだい 15 名から返信された。回収率は保護者 31.7%、きょうだい 34.1%であった。打診書に対して承諾のあった保護者 15 名からは、保護者 10 名 66.7%、きょうだい 10 名 66.7%の回答を得た。保護者からの回答によると、父親は平均 60.13 歳（幅：46～73 歳）、母親は平均 63.5 歳（幅：46～73 歳）、きょうだいは平均 30.8 歳（5～46 歳）、入所者は平均 33.9 歳（幅：11～47 歳）であった。入所者以外のきょうだいが 2 名いたのは 4 家族であった。きょうだい総数は 17 名、そのうち男性 12 名、成人 13 名、同居しているきょうだ

いは12名（うち4名は未成年）であった。入所者のうち成人は9名（69.2%）であった。父親不在の4家族中3家族で母親は70歳以上であり、母親不在は1家族であった。

返信用封筒は保護者用ときょうだい用を2枚同封し、返送も別の封筒でなされた。しかし、対象者の年齢と家族構成から、同じ家族からの返信は同じ日に回収されたと判断されることが多く、親子の対応はほぼ完全にできた。その結果、保護者ときょうだいの両方が回答した家族11（26/8%）、保護者のみ2、きょうだいのみ3であった。きょうだいのみが回答した3家族中2家族のきょう代いは40歳以上であった。

保護者の回答結果によると、入所者の診断名は知的障害7名、自閉症4名、無回答2名であり、手帳の等級は療育手帳Aまたは1級8名、2級2名、無回答3名であった。入所年数は平均19.6年（4～39年）、年間帰省日数は平均52.5日（0～130日）であった。入所生についての心配事を記載した保護者は5名であり、内容は、親亡き後の生活2名、地域移行2名、帰省時の生活1名、入所施設での生活1名であった（重複あり）。

2. 障害に関するきょうだいへの説明

「きょうだいに障害について説明をした」と回答した保護者は7名で、説明時のきょうだいの平均年齢は8歳（幅：5歳から12歳）であった。

一方、説明を受けたと回答したきょう代いは15名中8名、診断名を記載したきょう

代いはそのうち3名で、説明を受けた年齢は平均6.5歳（幅：4歳から7歳）であった。診断名を記載したきょう代いは全部で7名で、すべて30歳以上であった。障害について現在の疑問を書いたのは成人きょうだい2名で、生活や医療的な対処方法であった。

親子の対応をとると、「障害に関する説明をした」と保護者が回答した場合でも、時期と説明者が、きょうだいの回答と一致していたのは1組のみで、3組では異なり、残りの3組は回答が完全でなかった。

3. きょうだいに関する心配

保護者13名中8名61.5%は「きょうだいに関する心配がある／あった」と回答し、6名が内容を記載した。その内容は、「きょうだいの結婚」3名、「きょうだいの学校での生活」3名、「親亡き後のきょうだいの役割」2名、「世話が大変できょうだいが自分のことに向かえない」（重複回答あり）であった。しかし、対処方法を記載したのは2名のみで「医療・福祉・家庭の協力」「親が障害児に夢中になりすぎずに、きょうだいにはきょうだいで自分中心に歩ませることを勧める」と回答した。

一方、回答したきょうだい15名中9名60%が、「入所者について困ったことがあった」と記入し、その内容は、「家庭での行動」6名、「親亡き後の後見」2名、「機能低下」1名、「外出中にジロジロ見られたこと」1名、「入所生の世話を親から求められたこと」1名であった。「親亡き後の後見」は中

学生 2 名から「まったく情報がない不安」が記載された。対処は 5 名から挙げられ、「親の対処方法をまねる」3 名、「怒る」2 名であった。

親子の間で、入所者に関する心配事が一致したものはなかった。

4. 自己概念

自己概念領域別得点の合計は、対照群と比較すると、母親群は有意に低く、きょうだい群と父親群では有意差はなかった。自己概念の領域別得点では、対照群に比較して、母親群は 12 領域中 8 領域で有意に低く、父親群ときょうだい群では共に「ユーモア」領域のみで有意に高かった。母親群で低かった領域は、差が大きい順に、「親友」「入所生との関係」「援助」「自己価値」「容姿」「道徳」「知性」「入所生のきょうだいとの関係」であった。

5. 入所者に関する親ときょうだいの意識

入所者との現在の関係と将来についての設問 10 中 7 項目で、親ときょうだいに差異がみられた。親が高得点であったのは、「親亡き後にきょうだいは親とは違う方法で接すると思う」「入所者の能力をもっと伸ばせると思う」「情報がある」「ヘルパーに介助方法を説明できる」であり、きょうだいが高得点であったのは「相談できる人がいる」であった。また、「入所者の障害は悪くならないと思う」は親の平均はきょうだいの平均よりもやや高く、「親とオープンに話し合える」「入所者と意思疎通できる」ではきょう

だいの平均値は親の平均値よりもやや高かった。

6. きょうだいの経験

障害児のきょうだいがよく経験する事象について、4 点法で 19 項目について頻度を求めた結果、平均値が 2.5 以上であったのは 9 項目であった。大きい順に、「入所生の将来を心配する」3.77、「親は入所生の世話が大変で辛そうな時がある」3.46、「自分のことで親に心配をかけたくない」3.31、「入所生の障害のことを同級生には話していない」2.93、「入所生から嫌なこと、困ったことをされたことがある」2.93、「親は入所生を、将来、自分に見てほしいと思っている」2.73、「入所生のために、家族の計画が予定通りにいかないことがある」2.67、「親は入所生の障害を親のせいだと思っている」2.55 であった。

一方、平均値が 2 点未満だったのは 6 項目で、得点が小さい順に、「進路決定に入所生の障害は影響した」1.42、「きょうだいについての情報収集をしている」1.45、「恋愛や結婚に入所生の障害は影響した」1.46、「きょうだいという意識はあまりない」1.86、「入所生の障害について友人にうまく説明できない」1.92、「秩父学園にきょうだいの会があれば参加したい」2.00 であった。

7. 入所者の後見人

保護者の回答によると、すでに後見人手続きをとっていたのは 4 名(きょうだい 3 名、弁護士 1 名)で、父親の平均年齢は 68.5 歳であっ

た。ほかに 4 名は「きょうだいを後見人にする予定」と回答し、うち 2 名のきょうだいは未成年であった。残りの 5 名は、「後見人の予定」に無回答であった。

8. 家族に対する支援のニーズ

14 項目に対する保護者 14 名の記入数は 62 あったのに比べて、15 歳以上のきょうだい 13 名の記入数は 33 で有意に少なかった。保護者の半数以上から要望があった 4 項目は多い順に「入所者の生活の場が家庭から近いこと」11 名、「入所者が地域で生活するために必要な人的資源」9 名、「後見人を依頼するための経済的補助」7 名、「家族に対する相談事業」7 名であった。自由記述には「幼少期のきょうだいに対する支援」という要望と「地域とは何か?」という疑問が記入された。

一方、きょうだいでは、同じ 14 項目のうち半数以上から要望があった項目は「入所者の生活の場が家庭から近いこと」9 名にすぎず、家族に対する支援の要望は少なかった。

D. 考察

本調査の回収率は 3 割程度であり入所生の家族の状況を代表するとは言い難いが、回答者については、予測した「入所生ときょうだいの関係が希薄であること」「親亡き後の関係が薄いこと」は否定された。しかし、未成年のきょうだいも保護者から「後見人」と考えられており、きょうだい自身からも「親亡き後の心配」「障害についての

情報不足」が回答されたことは、入所者の将来を見据えた情報提供を、未成年のきょうだいにも行う必要があることを示唆する。

また、以下の 3 点が示唆された。

1) 「親子の会話がオープンである」と回答したきょうだいが多かったにもかかわらず、障害に関する説明については親子の回答はほとんど一致せず、親からの期待を、きょうだいは実質以上に感じる傾向があった。したがって、特に、入所生の将来について親子で話しをする機会を作り、親子で共に将来計画を立てることが有効と考えられる。

2) 未成年のきょうだいは入所生の将来の見通しや社会資源に関する情報提供に乏しかったが、きょうだい会のような機会への参加希望者は少なかったことから、パンフレットなどの準備及び保護者に伝達方法を教示することが有効であると考えられる。ただし、経験したことがないために要望をしない可能性もあるため、きょうだいに対する直接的な支援及び家族に対する支援を試行し、必要性和有効性を確認する価値はあると考えられる。

3) 母親の自己概念のうち、特に、「入所生との関係」と「援助」領域の得点が低かったことは、母親は、入所した子どもに対する役割が、子どもが成人しても確立しにくく、支援が必要であると考えられる。

先行研究では「きょうだい関係がよい場合に質問紙法による調査では、回答率が高いこと」が指摘されているため、回答を得

られなかった家族については、別の支援方法を検討する必要もあると考えられる。

E. 健康危機情報

本研究は国立障害者リハビリテーションセンター研究倫理審査委員会の許可を得て行われた。

F. 研究発表

- 1) 北村弥生, 上田礼子, 柿沼章子: 血友病患者によるきょうだいに関する感情と経験及び遺伝に関する意識. 国リハ紀要. 32 (受理).
- 2) Kitamura, Y., A. Kakinuma, R. Ueda. Feelings and Experiences of Siblings of Patients with Haemophilia. WHF, 2012.
- 3) 北村弥生. 青年期発達障害者・両親・きょうだいに対する就労移行支援の効果. 日本LD学会, 東京, 2011.
- 4) 北村弥生. 障がいや病気の子どもの家族へ伝えたいこと. 東京都南多摩保健所, 2011.
- 5) 北村弥生. 入所重度知的障害者のきょうだいのニーズと自己概念. 特殊教育学会, 筑波, 2012.

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
車谷洋, 深津玲子	青年期発達障害者の運動および上肢能力の調査	日本作業療法研究学会雑誌	14 (2)	9-15	2012
深津玲子	青年期にある発達障害者の地域生活移行支援	第107回日本精神神経学会学術総会特別号		324	2011
水村慎也, 四ノ宮美恵子, 小林菜摘, 深津玲子, 車谷洋	青年期発達障害者の地域生活移行への就労支援に関するモデル事業Iー支援の実施状況ー	日本発達障害学会第46回研究大会発表論文集		88-89	2011
小林菜摘, 四ノ宮美恵子, 水村慎也, 深津玲子, 車谷洋	青年期発達障害者の地域生活移行への就労支援に関するモデル事業IIー小グループによる支援の試みー	日本発達障害学会第46回研究大会発表論文集		90-91	2011
車谷洋, 深津玲子, 四ノ宮美恵子, 水村慎也, 小林菜摘	青年・成人期にある発達障害者の運動能力	日本発達障害学会第46回研究大会発表論文集		170-171	2011
花木りさ, 小倉加恵子, 深津玲子, 藤井俊勝	人物と位置に関するソース記憶課題の作成ーアスペルガー症候群における社会性の障害の背景を調べるためにー	日本発達障害学会第46回研究大会発表論文集		228-229	2011
深津玲子	成人期発達障害者の支援について	第12回日本言語聴覚学会抄録		59-60	2011
Satomi Suzuki, Mieko Shinomiya, Reiko Fukatsu	Develop the ICF-Based Assessment to Describe Conditions of Adults with Autism Spectrum Disorders: Identification of Relevant Categories	21st Asia-Pacific Social Work Conference -Crossing Borders: Interdependent Living and Solidarity-		59	2011
北村弥生, 上田礼子, 柿沼章子	血友病患者によるきょうだいに 関する感情と経験及び遺伝に 関する意識	国リハ紀要	32	印刷中	2012

